

平成30年度 学校評価（最終報告）

重点目標	学習に対する姿勢を整え、学力の向上を図るとともに、家庭や地域との連携を踏まえた学校教育活動全般の改善に努め、凛として清々しい個と品格ある校風づくりの確立を目指す。また、職員間の協力体制の在り方を検討し、協働して業務に当たることができるように工夫する。 1 家庭や地域から信頼される学校づくり 2 生徒の夢を実現できる学校づくり 3 品格ある校風づくり		
項目（担当）	重点目標	具体的方策	評価結果と課題
P T A と防災 （総務部）	P T A 活動の活性化	<ul style="list-style-type: none"> ・ P T A 活動により多くの会員が積極的に関わることのできる体制を確立する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本部役員との連絡を密にとり、評議員会で、本校の活動や P T A としての活動を共有した。評議員アンケートからも、「学校活動に関わることができ、学校の熱心な姿勢が伝わってきた。」と、保護者と学校を繋ぐ大切な役割を果たしてくれていることがわかった。
	災害に備えての対策と体制作り	<ul style="list-style-type: none"> ・ 生徒、保護者、教職員の防災意識を向上させる。 ・ 災害時に生徒、職員の安否を確認できるシステムの構築を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 防災訓練への保護者の参加、消防署との連携など、より現実的な訓練のあり方を模索した。また、P T A との連携の中で、防災アルミシートを備蓄品として加えることができた。 ・ 「安否確認システム」を「安否入力シート」と改名し、実際の災害時に活用することを想定し、より現実的に利用できるシステムへの移行を行なった。
時間割 （教務部）	時間割の編成と時間割変更の効率化	<ul style="list-style-type: none"> ・ 時間割編成をコンピュータにより効率化する。 ・ コンピュータデータの活用により時間割変更を効率化する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ コンピュータによる時間割編成を施行して、実用化のめどが立った ・ コンピュータデータの活用により時間割変更の点検や連絡を効率化するためのシステムの研究を行い、問題点を洗い出すことができた。
進路指導 （進路指導部）	高い進路目標の確立と実現に向けての指導	<ul style="list-style-type: none"> ・ 生徒の進路意識を確立して、高い進路希望を実現させる。 ・ 基礎学力のさらなる充実をはかる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 高い進路目標を持たせることはできたが、さらに生徒の学力や適性を考えて適切に導く必要があった。基礎学力の二極化も対策が必要である。
	チームとしての進路指導の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保護者向け進路説明会や保護者会を充実させる。 ・ 地域連携を推進する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保護者や家庭の進路希望に及ぼす影響はますます強まっている。本人の希望だけでなく保護者との連携をさらに強める必要がある。
生徒指導と生徒会活動 （生徒指導部）	いじめ防止対策	<ul style="list-style-type: none"> ・ いじめ防止するために、他の分掌と連携を密にして、全職員で取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ いじめの予防および早期発見に努めた。今後はより一層、学校や保護者、地域と連携して取り組む体制を整える必要がある。
	高校生らしい身だしなみと交通安全意識の向上を図り、地域から愛され応援される学校の確立	<ul style="list-style-type: none"> ・ ルールを明確にし、全職員の協力体制を確立する。 ・ 自転車ルールの遵守と交通マナーの向上を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 生徒に対して本校のルールを様々な機会を捉えて提示することができた。本年度は遅刻が増加したため次年度に指導の強化を図る。 ・ 交通安全指導や外部からの意見も機会として自転車乗車中の交通ルールとマナーの向上に努めた。今後も継続的な指導が必要である。
	生徒会がリーダーシップを取り校内外の体験的な活動へ積極的に参加する	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学校行事に取り組む意識・意欲を高めつつ、自らが積極的に行動するように図る。 ・ 校内外のボランティア活動への積極的な参加を促す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学校行事への意識・意欲は高めることは出来たと思えるが、積極的に行動するには至らなかった。時間的な不足があり、また生徒会のリーダーシップも弱かった。活発に活動出来る環境作りが必要と考える。 ・ ボランティア活動への参加は積極的に行われた。
情報管理と図書指導 （情報研修部）	情報化の推進および教員の資質の向上につながる研修の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・ ホームページを活用しての情報発信を活発化する。 ・ 教員の I C T 活用に有効な研修を企画し、実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 閲覧者のニーズに合わせ、タイムリーな更新と正確な情報の発信につとめた。 ・ 個人情報の扱い等のセキュリティに対する教員の意識と資質の向上を目指した。
	図書館の有効利用と充実	<ul style="list-style-type: none"> ・ 図書館報や図書委員会を通じて図書館の魅力を知周する。 ・ 蔵書図書を充実させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 図書館だよりの定期的な発行と生徒の関心を引くような内容の充実に努めた。 ・ 学校行事に合わせた展示など精力的に行い、図書館を魅力的なものにする工夫を行った。
保健指導と教育相談 （保健厚生部）	生徒保健委員会の活動の活性化と生徒全体の健康や清掃に対する意識の高揚	<ul style="list-style-type: none"> ・ ゴミの分別を徹底させる。 ・ エアコン使用時等に教室の換気を徹底させ、インフルエンザ等の予防を図る。 ・ 保健だよりを発行する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ゴミの分別を徹底させ、保健委員の環境チェックの結果を共有し学校全体で環境美化に取り組めた。 ・ 保健委員を中心にで喚起の重要性を説明し、インフルエンザ等の感染症の予防を意識させた。 ・ 『保健だよりの』でタイムリーな話題を提供し、健康づくりへの意識を高めることができた。
	教育相談が必要な生徒の情報の共有化と早期の対応	<ul style="list-style-type: none"> ・ 欠席の多い生徒の情報を収集し、早期に対応する。 ・ 相談室の利用を促進する。 ・ スクールカウンセラーとの連携を密にする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 欠席の多い生徒について、月1回学年ごとに情報を提供してもらい、教員間で共有することができた。今後も生徒の心身の健康状態について担任、養護教諭、部顧問、スクールカウンセラーと綿密な連携を図る必要がある。

学科指導 (生活文化科)	コース別の特性を活かした魅力ある授業内容の確立と卒業発表会に向けた生徒の意識の高揚	<ul style="list-style-type: none"> 各コースの特性に応じた授業の実践、資格取得を目指すことで、知識・技術の深化を図る。 卒業発表会において、全体発表とコース別の発表の充実を図り、校内外にむけての発信に取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> 個別指導を積極的に実践することで、生徒が自らの課題に主体的に取り組むことが出来、知識・技術の深化を図ることが出来た。今後、資格取得に関して、高度な知識・技術を用いた出来栄で習得に繋がるよう努めたい。 コース別の発表は、体育館をはじめ会場の準備を学校全体の協力のもとにできたことで、効率的に充実した発表・発信に繋げることが出来た。今後さらなる、校内での協力を得ながら実施に繋げたい。
学科指導 (生活文化科)	外部講師・地域との連携を図り、スペシャリストを目指した生徒の育成	<ul style="list-style-type: none"> キャリア教育に関する取り組みの拡大を図り、職業人としての視野を広げ、意識を高める。 外部講師による講習会を充実させ、より専門的な知識・技術を習得する機会を設ける。 	<ul style="list-style-type: none"> 3年間を見通したインターンシップ実施の道筋を立てることが出来た。今後も、地域との連携を大切にし、長期休業中等も取り組める機会を増やしたい。 同じ外部講師による講習会を2・3年生積み上げで実施したことで、学習の深化を図ることが出来た。今後、実施時期を見直し、適切な時期に取り入れることでさらなる学習成果が得られるよう努めたい。
1年生指導 (第1学年)	基本的な生活習慣と規範意識の確立	<ul style="list-style-type: none"> 高校生の本分を中心とした生活習慣を確立し、自己管理能力を育成する。 校則を遵守し、豊丘高校の一員として、落ち着いた学校生活を送らせる。 	<ul style="list-style-type: none"> 基本的な生活習慣は概ね確立している。 生徒の大多数は、校則を遵守し、落ち着いた学校生活を送れているといえるが、自宅や学校での携帯電話の取扱いについてはまだ不十分な点があり、来年度も継続的に指導していきたい。
	学習習慣の確立	<ul style="list-style-type: none"> 予習をして授業に臨み、復習して学習内容を定着させるよう、家庭学習の習慣化を図る。 授業に意欲的に臨み、主体的かつ能動的に学習する態度を身につけさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> 学習時間記録簿や個人面談を通じた指導により、家庭学習の習慣化は少しずつ図れている。 主体的、能動的に学習する態度の定着はまだ不十分である。生徒自身が振り返り、気づくことを大切にし、学習習慣や学力の充実を計りたい。
2年生指導 (第2学年)	社会人としての基礎力の養成	<ul style="list-style-type: none"> 基本的な生活習慣を確立させる。 授業規律を徹底し、教室環境を整備する。 	<ul style="list-style-type: none"> 全体的には基本的な生活習慣については、概ね良好であるが、遅刻がやや増加したことが反省点である。また、携帯電話の使用方法についても継続して指導する必要がある。 授業時間中の大きな問題は無いが、予鈴での着席やロッカー周りの整頓などは良好とは言えなかった。
	将来を見通し、努力できる人材の育成	<ul style="list-style-type: none"> 進路目標を明確にさせる。 学習習慣を確立し、学力の充実を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 進路講話、模擬授業、オープンキャンパスへの参加と、担任面談から進路意識は高まった。 2年生後半から家庭学習時間が増えているが、課題提出と学力に関しては、二極化が進みつつあるので、継続した対策が必要である。
3年生指導 (第3学年)	社会人としての基礎力の確立	<ul style="list-style-type: none"> 基本的な生活習慣と規範意識を確立させる。 社会性や公共心を育成する。 	<ul style="list-style-type: none"> 身だしなみ、挨拶、言葉遣いなど、社会人としての基礎を継続的に指導するように心がけた。
	個人の能力伸長と進路目標実現	<ul style="list-style-type: none"> 学力を充実させ、進路目標を実現させる。 特別活動に積極的に取り組ませる。 	<ul style="list-style-type: none"> 学習時間調査や面談を通して、進路を決定する最終学年を意識させ、行事などにも積極的に参加させながら、進路実現に向けて努力させた。
総合評価		<ul style="list-style-type: none"> 家庭や地域から信頼される学校づくりを目指した方策と実践について 特色ある学校作りと地域連携について 	